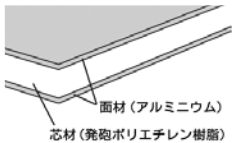


アルミ複合板の 展示パネル

大好評!! 問い合わせ多数

アルミ複合板とは、アルミニウム2枚と発泡ポリエチレン樹脂から作られた板材のことで、



- ### 人気のポイントは?
- 耐久性・耐候性が抜群!
屋内外での看板や案内板に大活躍。
 - 軽くて丈夫!!
遠方への輸送も安心◎

お客様の声

イベント会場への持ち込み時
色々なものを積み込むため、
凹みや傷の心配が軽減できて
助かりました。



**施工まで一括で
ご依頼いただけます。**
色々なサイズへ対応も可能
卓上POPや壁面に
ご活用いただいています

- 社内掲示物 ● 屋外看板
- ポスター・ルームプレート

お問い合わせは営業担当まで

D-WAVE 3 大和写真工業(株) 高槻支店 大阪府豊中市市三和町4-3-1 TEL06633311807(代) FAX06633324453

大和写真工業(株)が毎月お客様へ
印刷・複写・デジタルのお役立ち情報をお届けします。

ディー・ウェーブ D-WAVE

MONTHLY NEWSLETTER PRESS Vol.206

2025
3
March



飽きないでやるのが商いだなあ

- 売り手よし(会社の利益が上がる)
- 買い手よし(顧客が満足する)
- 世間よし(地域社会や環境に貢献する)

ご存じ江戸時代から明治にかけて栄華を極めた近江商人の「三方よし」の経営理念は、現代のSDGs(持続可能な開発目標)にも相容れる考え方ですよ。もちろん私も経営者のはしぐれ、これが現実問題として難しいこと、理想論ということは理解しています。それでも永く商売をするうえで決して忘れてはならないことの一つとして常に意識しています。

さて、世界を見ると大国が自国の利益を最優先、力での現状変更を強行、各国との間に緊張をもたらしています。これはまさに「自分だけよし」の考え。この先どんな世の中になるのだろうか…、混沌とした危うさに嫌な感じがするのは私だけ?

代表取締役 鶴井宏尚

色問題の正解値は!?

実は人によって
見える色が
違うんです

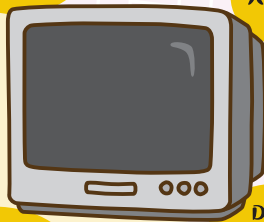


テレビ販売の
店頭ではモニター越しに
こんな会話がされていました

人の目には、**光の3原色**「R(レッド)・G(グリーン)・B(ブルー)」と明るさを感じるセンサーがあり、その配分によりさまざまな色を認識しています。しかしその感覚には人それぞれ微妙な誤差があり、見えている色も多少異なります。ちなみにRGB表示機器にはテレビの他に、パソコン、デジカメ、スマートフォンなどがあります。

A社は
全体的に色が
薄いなあ

B社は
人の肌の色が
赤いなあ



C社は
黄色見が強く
濃く感じる

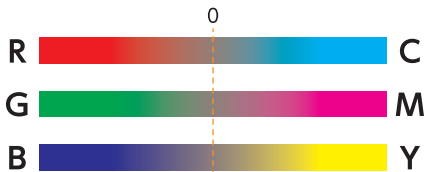
D社は
自然な感じの
色彩だなあ

※画像の色彩は、各メーカーや機種、放送局によっても違います。

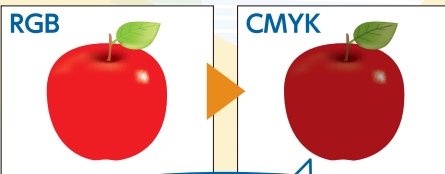
それに対して印刷やプリンターで使用されるのは、**色の3原色**「C(シアン)・M(マゼンタ)・Y(イエロー)」にK(黒)を加えた4色。その配分によってさまざまな色を表現しています。そのため、RGBで撮影されたデジタル写真や画像化されたロゴなどが、印刷時に色が変わってしまうことがあります。また使用する機種等によっても変わる事があります。

デジカメ、
スマートフォンで撮影した
写真も基本RGB

RGBとCMYKの関係



「RGB」と「CMY」は反対の関係にあります。なので例えば「この写真赤いなあ」と感じて補正する場合、R(レッド)を抑えるとC(シアン)が強くなり、M(マゼンタ)を抑えるとG(グリーン)が強くなります。



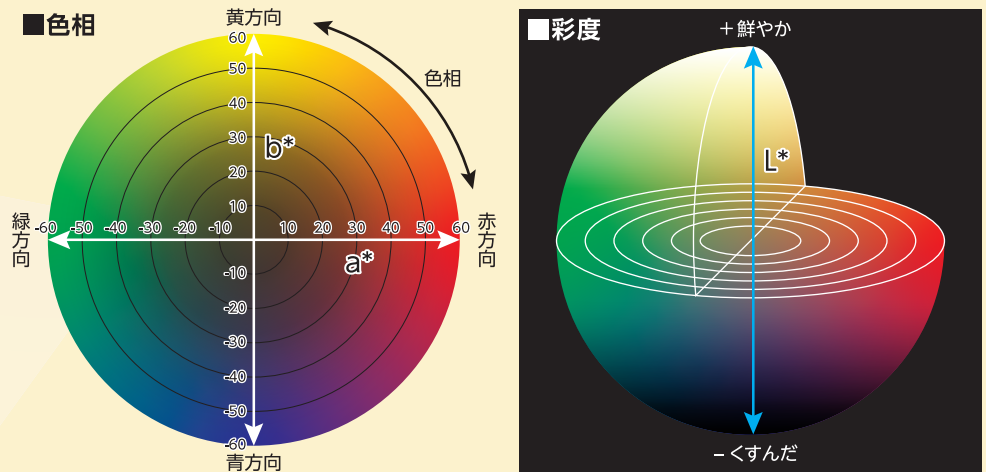
鮮やかな色は濁ることがあり
会社ロゴなどはちょっと注意が必要

RGB モニター と CMYK プリンター の色を近づけたい!

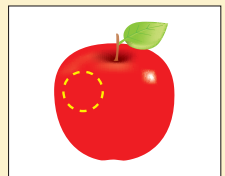
L*a*b*色空間で色合わせ

「L*a*b*(エルスター・エスター・ビスター)色空間」は、さまざまな分野で色表現に使用されているポピュラーな表色系(色の表し方)です。パソコンなどの表示機器のRGBや、プリンターなど出力機器のCMYKの特性と異なり、L*a*b*は人が認識できるすべての色を含んでいます。

L*a*b*色空間色度図(色相と彩度)



例えば右のりんごの絵の黄点線部分をL*a*b*色空間で測定すると、「L*=43.31、a*=47.63、b*=14.12」という数値が出ました。これにより、このりんごの色は「赤方向の色相で、鮮やかな色」と言い表すことができます。



色を数値化して管理すれば、印刷工程で校正刷り(試し刷り)の際、イメージしていた印刷物と違いがあれば、「赤っぽい」「少し暗い」などの感覚的な表現でなく、具体的にどの程度の色差であるか客観的にわかります。また、L*a*b*の基準を数値で決めておくことで、リピート印刷の際も前回の色にすばやく近づけられます。

明確で正直
頼りになる色の
番人です

